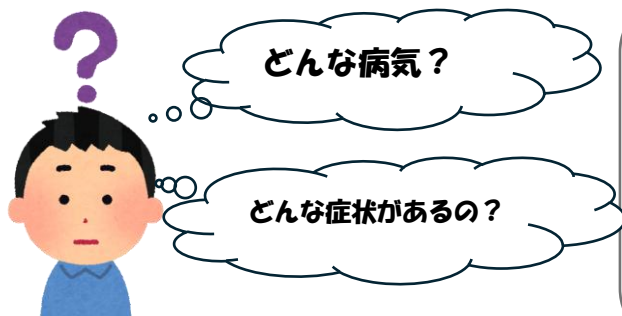


知っておきたい結核の話

日本では毎年約 10,000 人が新たに結核を発症し、毎年 1,400 人以上が結核で亡くなっています。長野市では 65 歳以上の患者が約 7 割を占めていますが、近年は外国出生患者の発生もみられています。



結核とは、結核菌が体の中に入り増えることによって主に肺に炎症を起こす病気です。結核患者の咳やくしゃみで結核菌が空気中に飛び散り、周りの人がそれを直接吸い込むことで感染します。

感染してもすべての人が発病するわけではありません。健康であれば、多くは免疫の働きによって結核菌を抑え込んで発病を防ぎます。

加齢や病気などで免疫力がおちると抑え込まれていた結核菌が再び活動を始め、発病することがあります。

こんな**症状**があったら速やかに医療機関に受診しましょう。

- ・2週間以上続く咳・痰・熱
- ・血痰、喀血
- ・体重減少
- ・全身のだるさ
- ・息切れ



年に1回は結核健康診断(職場健診・人間ドック)を受けましょう

事業者は定期的結核健康診断(胸部エックス線検査)を行うことが法律によって定められています。

もし、異常を指摘されたら、必ず専門の医療機関で精密検査を受けましょう。

結核は効果の高い治療薬があり、早期発見・早期治療で治る病気です。

治療が遅れると知らないうちに家族や職場など周りの人に感染させることもあるため、早めの気づきが大切です。

長野市保健所健康課
電話 226-9961
FAX 226-9982